

4. 高校生とひとり暮らし高齢者・施設の高齢者との交流

高校生とひとり暮らし高齢者・施設の高齢者との交流のためのサマーキャンプを実施します。

2) 世代間交流の機会のためのイベント開催

関係団体協働による共催イベントとして、（仮称）“おおさき 地域の輪 まつり”を開催します。

地域の輪づくりのために、地域の輪実施委員会を組織し、当日スタッフやまつり実行委員に多くの方々に参画を促すため、関係機関、団体の協力を得ることは勿論、ホームページでの呼びかけや公募などの形態で参加を呼びかけ、広く各世代からの参加を募ります。

3) 地域内活動としての世代間交流

1. 各種関係団体による地区行事を開催し、その中で世代間交流を定期的に開催します。
2. 家に居ることの多い高齢者向けに、本人の確認を得た上で、地区内の子どもから、“元気ですか？”便を発行します。

⑤地域づくりに向けた関係団体の交流のために ＝人の和と団体の輪の地域づくり＝



- 1) 各種地域内での活動や、関係団体の活動に、多様な形で参加できるような“参加のしくみ”を整えます。

- ・世代間交流の機会のためのイベント開催の手法により、誰もが参加できるような「しくみ」を整えます。

- 2) 関係団体による“おおさき ふくしのつどい”を開催します。

- ・関係団体の実践報告の機会とします。
- ・団体に加入していない市民の研修の機会とします。
- ・イベントボランティアを募り、ボランティア団体の交流を図ります。
- ・各団体の今後の企画のコーナーを設け“共催団体募集”を呼びかけます。

3) 共催事業の奨励

- ・見守り活動を目的とした地域別の実行委員会を設置します。

- ・従来型の安否確認や定期訪問の活動を展開します。
- ・各種関係団体による地区行事を開催します。
- ・世代間交流を定期的に開催します。

⑥地域づくり推進のためのひとづくりのために ＝社会福祉の人材養成・研修＝



1. 地域内活動のボランティアを養成します。
2. ボランティア研修会を計画的に開催します。
3. 地域リーダー研修会を開催します。
4. 福祉活動担当者研修を開催します。
5. 福祉に関心のある市民や学生の体験学習の機会を設けます。
6. 災害時に活躍できるボランティアの育成のため、災害ボランティア研修会を、実践的な方法により開催します。

⑦活動展開のための拠点づくりのために ＝事業展開のための拠点施設の整備と活動の展開＝



1) 拠点施設の整備

大崎市では、郡部、市部問わず、地域性に応じて、高齢者や障がい者、更には子育て支援のための施設としての拠点整備が求められています。

地域の求めに柔軟に対応するために、拠点施設の整備計画を喫緊の課題として捉え事業運営にあたることとします。

●入所型施設の古川西部地域への整備を目指して拠点整備を早期に実施する。

行政計画である「大崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」との整合性を図りながら、古川西部地域に不足している入所型福祉施設の建設について、同地域に既に設置済みの当会福祉施設との連動による効果拡大を視野に入れながら、早期での建設実現を目指します。

2) 福祉サービス等の企画・実施、総合的な相談・援助活動

市内一様の提供システムではなく、個々の地域の特性に見合った提供システムが望まれているため、従来から地域別に実施してきたサービスや事業は、効率化を図りつつ継続して事業を展開します。